

正木亮 あきら 刑事政策學者、法學博士。明治二十五年二月二十五日廣
島縣生れ、昭和四十六年八月二十一日歿（八九二―一九七二）。筆名あき羅、
住江敬義、夢。大正七年東京帝國大學法科大學獨法科卒。検事となり、
大正十年志願囚として監獄生活を経験。司法省行刑局長、刑政局長、
廣島・名古屋各控訴院検事長等歴任。昭和二十一年辯護士登録、二十
八年神奈川大學教授、三十年刑罰と社會改良の會を設立し、雜誌「社
會改良」を創刊。三十二年矯正協會會長。死刑廢止論者。

著書「志願囚―囚人」とともに「二十年」（昭和二十一年十月十日朝日新
聞社）、「死刑」（昭和二十年十一月十五日河出書房「法學新書」）、
「サヨナラ人間売買」（合著・柿沼市子編、昭和二十一年十二月五日
現代社）、「光を求めて―四十数人の語る人生ノート」（合著、昭和
二十二年十一月一日新泉社）等。

